

植物工場関連事業の移管・集約について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカルアグリドリーム株式会社

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「MCC」）は、植物工場事業の強化を目的に、本年4月1日付でMCCとMCC子会社の三菱ケミカルアグリドリーム株式会社（本社：東京都中央区、社長：狩野 光博、以下「MCAD」）がそれぞれ持つ植物工場事業を、同じくMCC子会社の三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、社長：柳川 秀人、以下「MCAS」）に移管し、植物工場に関する事業を集約することといたしましたのでお知らせいたします。



苗専用人工光装置「苗テラス™」



葉物専用水耕栽培「ナッパーランド™」



新型水光栽培システム「AN™」

現在、MCC及びMCADでは「苗テラス™」「ナッパーランド™」「AN™ (AGRICULTURE NEXT)」「Plant Plant™」等の水耕栽培技術を用いた植物工場の設計、施工及び販売に関する事業を行っています。一方、MCASは長年にわたり水処理ビジネスを手掛け、そのエンジニアリング力や水処理技術を培ってきました。気候変動や農業人口の減少等で今後ますます植物工場へのニーズが高まる中、MCCグループが有する植物工場関連事業をMCASに集約化することで、MCASが持つ「水」に関する卓越した技術や設計、施工機能等とのシナジーにより、より高度で優れた植物工場関連製品及びサービスの提供を図ってまいります。また、この度の集約化により将来的には、バイオ技術等を融合させた植物工場の高度化や医療・健康食品・エネルギー分野への展開も目指してまいります。

三菱ケミカルホールディングスグループでは、中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30」において、「食糧・水供給」を解決すべき社会課題・注力すべき事業領域の一つとしています。今回の植物工場関連事業の集約化は、この施策の一環であり、今後もMCCグループは保有する財産を結集させてこの課題の解決を目指してまいります。

【三菱ケミカルアグリドリーム（MCAD）社について】

MCADは1951年に国内で初めて農業ビニールフィルムを販売開始し、長期展張フィルムにおいては現在国内トップシェアを誇っています。植物工場については、苗専用人工光装置「苗テラス™」や葉物専用水耕栽培「ナッパーランド™」を組み合わせた太陽光利用型植物工場で全国120か所、中国25か所と多くの販売実績があります。また、昨年からは新型水光栽培システム「AN™」の販売も開始しました。

【三菱ケミカルアクア・ソリューションズ（MCAS）社について】

MCASはイオン交換樹脂やイオン交換膜を利用した純水製造装置などの各種水処理装置や、健康食品素材向けの分離精製装置、膜分離活性汚泥法を応用した排水処理装置の設計・製造・施工事業を展開しております。また、地下水膜ろ過飲料化システムを手掛け、災害等による断水時でも水ライフラインの確保が

可能なサービスを提供しています。

以上

＜報道関係の方からのお問合せ先＞

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 TEL03-6748-7140

＜製品に関するお問い合わせ先＞

三菱ケミカル株式会社 アグリソリューション事業部 植物工場グループ TEL 03-3279-3096

三菱ケミカルアグリドリーム株式会社 植物工場営業部 TEL 03-3279-3704